

座談会



厚生局に決めた理由は？

司 会：本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。今日は皆さんに、厚生局への就職活動を経て感じたことや、働いてみての印象など、色々お聞かせいただきたいと思います。はじめに、皆さんが厚生局に就職を決めた理由についてお聞かせください。

職員B：国民の生活に密着した仕事をしたいと考えておりました。医療や介護など、国民生活により近い東北厚生局の厚生行政業務に興味を持ったことがきっかけです。

職員C：私も公務員の中でも医療に携わる仕事がしたいと考えていました。また、東北で働きたい、という希望もあったので、それらの条件を満たす東北厚生局を志望しました。

職員A：学生時代の経験に加え、業務説明会に参加した時の先輩方の雰囲気がとても良く、東北厚生局の一員として働きたいと思ったからです。

職員D：業務説明会や官庁訪問に参加して、職員の方々の優しい人柄や温かい雰囲気に惹かれ、一緒に働きたいと思ったのがきっかけです。

職員E：東北厚生局で所管している医療・年金・福祉の分野に興味があり、やりがいを持って仕事ができそうだったからです。

採用面接について

司 会：採用面接はどうでしたか？緊張しましたか？

職員A：とても緊張しましたが、「分からない質問には分からない」と答えて良いからね」とお話しくださり、落ち着いて臨むことができました。

職員B：面接官の方々が、こちらのことを知ろうとしてくれているのが伝わってきて、とても話しやすい面接でした。

職員C：面接前はとても緊張しましたが、上手く話せるか自信が

なかったのですが、面接官の方が親身に接してくださり、こちらが話したことの意味を確認しながら進めてくださったので、悔いなく終えることができました。

職員D：面接で幹部職員の方々の前に座ったときは、ものすごく緊張した記憶がありますが、熱意をもって自分のことをアピールできたと思います。

職員E：面接官の人数が多くて緊張しましたが、話しやすい雰囲気を作ってくくださったので、言いたいことを伝えることができました。この上司の方々の元で働きたいと思えるような面接でした。

採用前に不安に感じたことは？

司 会：採用前に不安に感じたことがあればお聞かせください。

職員A：医療や年金に関する知識が十分ではなかったため、きちんと業務を遂行できるか不安でしたが、上司や先輩方に指導いただきながら、少しずつ仕事を覚えていきます。

職員D：業務内容の専門性が高い印象があり、きちんと理解して取り組むことができるかという点が不安でした。先輩や上司が丁寧に教えてくれるため、今は少しずつ仕事に慣れることができます。

職員C：そもそも社会人になることが不安だったことに加え、専門的な知識がない中で厚生局の業務ができるかどうか心配でした。私も周囲の方に助けていただきながら、業務にあたっているところです。

参考 総務担当より

採用日までのスケジュール(4月採用の例)

10月	内定通知(郵送)
1～2月	採用時に必要な書類等を郵送
3月上旬	配属先について連絡
4月1日	採用



職員E: 10月の内定式の際、不明点について色々とお話をお聞きすることができ、不安を和らげることができました。

残業は多いですか？

司 会: 毎日忙しいですか？残業は多いですか？

職員A: 定時になると上司にあまり遅くならないようにね、と声をかけていただくことも多く、今のところ残業をしたことはありません。

職員C: 業務スケジュールの関係で、たまに残って仕事をすることがあります。定時になると帰るよう促されるため、基本的に残業はありません。

職員D: 残業は一回もしたことはありません。繁忙期は残業があるかも？と聞いていますが、今は定時で帰ることができています。

職員E: 時間内に終わられる業務量のため、今のところ残業したことはありません。

職員B: 課にもよると思いますが、私も採用以来、残業はしていません。

皆さんの職場の雰囲気はどうですか？

司 会: 皆さんの所属している職場の雰囲気はいかがですか？

職員E: 先輩も上司もすごく優しく、丁寧に教えてくださるので雰囲気はとても良いです。

職員A: 気さくに話しかけてくださる方が多いため、緊張がほぐれ、良い雰囲気の中で働くことができています。

職員D: わからないことがあるときも相談しやすい雰囲気です。また、話しかけると皆さん優しく答えてくれるので、とても楽しく仕事をすることができています。

職員C: 働きやすい雰囲気だと思います。聞きたいことはすぐに質問することができますし、お土産でお菓子をいただくことも多々あり、楽しく仕事させていただいています。

職員B: 話し合いや意見交換が活発に行われており、分からないことがあっても質問しやすい環境だと思います。

若手職員座談会



帰宅後の過ごし方は？

司 会: 仕事が終わってからの過ごし方を教えてください。

職員A: 自宅で趣味を楽しむなど、自分のやりたいことに時間を充てています。

職員C: 帰宅後は夕食をとり、お風呂に入って、あとは家事をしたり趣味の時間を過ごしたりしています。

職員E: 残業もなく定時で帰れているので、夜ご飯を食べて、ゆったりと自由時間を過ごしています。

職員B: 最近は自炊に力を入れて、美味しいご飯を作っています。

職員D: 夕食前に仮眠をとることが多いです。起きたら遅い時間になっていることもあり、ご飯を食べてから寝ればよかったと後悔することもあります笑

年次休暇は取得できていますか？

司 会: 皆さん、年次休暇は取れていますか？

職員D: 取得することができました。上司から「自分の好きな日に休みをとって大丈夫だからね、むしろ休んでください。」と声をかけていただきました。

職員A: 上司から月1日以上休暇を取るよう声をかけていただき、今月も年次休暇を取得しました。

職員B: 上司からも計画的に休暇を取得するよう声をかけていただけなので、とても取りやすい環境だと思います。

職員C: 私も上司の方から、月に一度は年次休暇を取得するようにとの話をいただき、業務のスケジュールを調整しながら休暇を取得しました。

職員E: 私も周囲の方から休暇の取得を促されました。職場全体として「月1回は休暇を取得しよう」という雰囲気があるので、休みを取りやすい環境だと感じています。リフレッシュしながら、メリハリをつけて仕事に向かうことができています。

参考 総務担当より

東北厚生局では、月に1日以上
の年次休暇の取得を推進しています。

